



■発行年月日/2025年10月1日 ■発行/独立行政法人国立病院機構千葉医療センター ■発行責任者/院長 古川勝規 ■編集者/副院長 大河昭彦
〒260-8606 千葉市中央区椿森 4-1-2 Tel 043-251-5311 Fax 043-255-1675 <https://chiba.hosp.go.jp>

理念

信頼される医療を築く
Building Trust
私たちは、地域の方々に親しまれ、
信頼される医療を目指します。

基本方針

- ・ 患者さんをはじめ、センターに関わるすべての方々の人権を尊重し、相互信頼で成り立つ安全・安心な医療を目指します。
 - ・ 地域の医療機関に信頼されるエビデンスに基づいた幅広くかつ専門性の高い急性期医療の構築を目指します。
 - ・ 良質かつ最新の医療を提供するために教育・研究・研修・情報発信を推進し自己研鑽に努めます。
- 以上の方針を継続的に実現する病院運営に努めます。



「上高地大正池 三段紅葉」

撮影：多田 稔（消化器内科医師）



院長就任から1年を迎えて

院長 古川勝規

私が院長に就任してから、1年が経過しました。この1年間、私たちは病院経営の現状と向き合い、日々改善の道を模索してきました。日本全国の多くの医療機関が、かつてない経営の困難に直面している中、当院も例外ではありません。

Chiba Medical Center (CMC)

リニアック新機種稼働10月から／ 感染予防のアドバイス……………	2
地域医療連携の会……………	3
医学史アネクドット 補遺 2 ……	4～5
がんサロンだより……………	5
診療トビックス 98 ……………	6
市民健康セミナー / 検査担当医表・専門外来表/編集後記 ……	7
外来担当医師表……………	8

現在、公立病院の約85%が赤字経営に陥っているという厳しい現実があります。2024年度（令和6年度）の診療報酬改定では、医療従事者の給与引き上げがなされたものの、それ以上に原材料や医療機器の価格高騰が収益を圧迫しています。医療現場では、日々の診療を維持するだけでも多くの努力が求められる状況です。

こうした中、当院として最も重要な課題の一つが「信頼の再構築」です。特に地域の開業医の先生方との連携強化は急務と考えています。患者さんの状態を的確に把握し、迅速に対応する医療体制を整えることが、急性期病院として今後の持続的な運営には欠かせません。

その一環として、6年ぶりに「地域連携の会」を開催いたしました。当日は多数の前方支援の開業医の先生方にお越しいただき、貴重なご意見やご指摘をいただく機会となりました。現場の声に真摯に耳を傾け、当院がどのように変わるべきか、どのように地域に貢献すべきかを改めて考えさせられました。

厳しい状況の今こそ変革の時であり、私たちは前を向いて進んでいかなければなりません。職員一人ひとりが自らの役割と向き合いながら、地域医療の一翼を担う存在として、これからも努力を重ねてまいります。

どうか今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

10月から放射線治療装置(リニアック)が新しくなりました

診療放射線技師長 藤岡 等

放射線治療に用いる、高いエネルギーの放射線を発生させる装置を医療用直線加速器(リニアック)といいます。当院では約15年間稼働していたリニアックが、2025年10月にエレクタ社製の Infinityというリニアックに更新されました。

放射線治療技術は日進月歩で進歩しており、新しいリニアックにはそれらの技術も搭載されております。具体的には、画像誘導放射線治療(IGRT)、体表面画像誘導放射線治療(SGRT)、深吸気息止め照射(DIBH)等ができるようになりました。それらの技術についてご紹介させていただきます。

・画像誘導放射線治療(IGRT)

治療直前にX線画像撮影を行うことで腫瘍の位置や形状の変化を正確に把握することができ、放射線をよりピンポイントに照射できる技術です。これにより、正常組織への被ばくを最小限に抑え、治療効果を向上させます。

・体表面画像誘導放射線治療(SGRT)

被ばくを伴わずに体表面の画像をリアルタイムで取得し、その形状変化をモニタリングしながら放射線治療を行える技術です。これにより、患者さんの位置ずれや呼吸による腫瘍の動きを補正し、治療精度を向上させます。

・深吸気息止め照射(DIBH)

患者さんが深く息を吸い込んで止めている間に放射線を照射する治療法です。主に左乳がんの治療に有効であり、心臓や肺などの重要な臓器を照射野から遠ざけることで、副作用を軽減します。



これらの技術を用いて、治療効果の向上と副作用の軽減という、患者さんにとって重要な二つの要素を両立させ、QOL(生活の質)の維持に貢献していきたいと考えております。

季節の変わり目に注意！秋から冬への感染症予防

ICU 看護師 吉田 茂

厳しい暑さが名残を見せる一方、朝夕には心地よい涼しさを覚える日も現れ、季節の移ろいを実感する頃となりました。秋から冬にかけては、朝晩の冷え込みや乾燥により、体の免疫機能が低下しやすくなります。また、クリスマスやお正月などイベント事もあり、人との接触が増えることで、感染症が流行しやすくなります。この時期はインフルエンザや新型コロナウイルス感染症に加え、ノロウイルスによる胃腸炎等の感染症が増加します。これらの感染症に罹らないためには、日常でできる基本的な感染予防対策を行っていくことが大切ですので、お話をさせていただきます。

感染予防対策の基本は手洗いです。感染症の多くは、人々の手を介して広がります。外出後・食事前・トイレの後、石けんと流水で30秒以上かけてもみ洗いをしましょう。汚れがない場合は、アルコール手指消毒も有効です。

ところで、咳エチケットについてご存じでしょうか。咳やくしゃみをする際に、他者への感染拡大を防ぐためのマナーおよび感染対策です。特にインフルエンザや新型コロナウイルス感染症など、飛沫感染する呼吸器感染症の予防に重要です。具体的にいうと風邪症状がある時は、マスクを装着します。マスクを着けていない状態で

咳やくしゃみをする際は、手のひらではなく、袖や腕の内側で口と鼻を覆います。また、風邪症状がなくても、医療機関や混雑した場所ではマスク着用をお勧めします。

そして、換気と湿度管理も大切です。秋から冬にかけては空気が乾燥し、ウイルスが空気中を漂いやすくなります。1時間に5～10分、2か所以上の窓を同時に開けると効率よく換気できます。室内湿度は、40～60%を目安に加湿器や濡れタオルで保ちましょう。

次に胃腸炎についてです。ノロウイルスは冬に多く、少量でも感染します。ノロウイルスはアルコールに強いウイルスなので、トイレの後、調理の前、食事の前は、石けんと流水による手洗いをしましょう。また、二枚貝や加熱が不十分な食品から感染することが多いです。食品は十分に加熱してください。

最後に体調管理についてです。十分な睡眠、栄養バランスの良い食事、適度な運動は免疫力を保つ基本です。発熱や咳、下痢などの症状があるときは無理せず休養し、早めに医療機関へ相談しましょう。

季節の変わり目は、手洗いや咳エチケット、換気、体調管理、食品の衛生といった基本的な行動が、自分と家族、そして地域を守ります。日々の習慣を見直し、元気に冬を迎えましょう。

千葉医療センター地域医療連携の会

6年ぶりに「地域医療連携の会」を開催

経営企画室長 松尾 義彦

7月25日（金）、当院において「地域医療連携の会」を開催いたしました。

本会は、地域医療に携わる医療機関とface to faceでの懇談の場を設け、さまざまな事柄について意見交換を行い、緊密な医療連携を図ることで、地域住民の患者さんに適切な医療を提供することを目的としたものです。

新型コロナウイルス感染症の影響により6年ぶりの開催となりましたが、多くの登録医の先生方や連携施設の方々にご参加いただき、盛況のうちに無事終えることができました。

古川院長のあいさつで開会し、総合司会を福富統括診療部長が務め、当院の取り組みをはじめ、各診療科の特色や強みなどについて紹介させていただきました。時間の関係上、駆け足になったところもございましたが、地域の先生方と情報交換の場を設けることができ、大変貴重な時間となりました。

ご参加いただきました地域医療機関の先生方、各施設の皆さま、ありがとうございました。本会でいただきましたご意見などを踏まえ、今後より一層地域医療連携を進めることで、地域住民の皆さまのお役に立てるよう努めてまいります。



開会の挨拶 古川院長



診療科の紹介 外科 野村医長



懇親会の様子



閉会の挨拶 大河副院長

ご参加いただいた連携医療機関（50音順）

- ・有馬外科胃腸科
- ・井上記念病院
- ・勝俣内科小児科
- ・木村病院
- ・こま内科呼吸器内科
- ・新宿外科医院
- ・ちぐさ会クリニック
- ・千城台クリニック
- ・なかむら医院
- ・広沢歯科クリニック
- ・ふらットクリニック稲毛
- ・幕張あいけいクリニック
- ・三木クリニック
- ・みはま病院
- ・やまぶき訪問クリニック
- ・四街道まごころクリニック
- ・和田医院
- ・池上内科医院
- ・介護老人保健施設のぞみ
- ・木内クリニック
- ・小浜内科外科クリニック
- ・高圓内科医院
- ・潤生堂医院
- ・千草台なかむらクリニック
- ・千葉中央外科内科
- ・春成祥子レディースクリニック
- ・ふたば訪問クリニック
- ・本町長嶋内科
- ・みうらクリニック
- ・みつわ台2丁目クリニック
- ・都町内科ハートクリニック
- ・ゆかりホームクリニック
- ・若草助産院

A N E C D O T A (補遺2)

— 隠れた史実 —

元研究検査科長 高澤 博

前回に続き二階堂兼(以後、兼)を中心に、明治3年に入学した東校変則科での授業の一端、佐藤尚中、岩佐純との出会い、千葉県知事柴原和への就職について、今後も、考察していきます。学校は秋葉原和泉町の旧藤堂藩上屋敷で行われ(白抜きA)、明治6・7年の講堂の図面が残っています(図1、東大法医学教室53年史)。学生寮として使用した徒士長屋三棟もみられ、寄宿生達が、そこで演じたいろいろな逸話が残っています。明治



図1: 文造の子息岡治道先生は病理学者で、結核撲滅に尽くし、著者の大学院時代も健在で先生の取り組み姿勢を拝見し、結核症の病理学を習った。図解剖局(赤枠)に注目してください。ここは、田中が解剖学に専従した所と考えられます。旧武術道場。

6年東京医学校(第一大学区医学校、に入学、明治17年東京大学医学科卒業、岡文造(岡治道博士厳父)の記憶によるもので、当時を知る大変貴重な記録によって、これより前(明治3年)入学の兼氏の医学修業の環境を想像します。

岡文造翁談、(文責編者)「少年の頃栃木の町医、松岡有紀に医学特に解剖を習い、カトリックの文典も学んだ。明治6年第一大学区医学校生徒募集の公告を朝野新聞で見て、早速出京し、船で一昼夜かけて扇橋に着き入学申し込み、入学試験は終了していたが、足利出の監事安藤の温情で、遅れた五人丈試験に入学を許された。試験内容漢文、日本外史及び作文、身体検査で、明治6年入学という事になった。」学生は皆寄舎に入るのであるが、いわゆる武家長屋で、下級生用に二カ所、上級生用が北側に一カ所、各部屋6～8畳、窓に向かって各々二人宛机が置かれていた(同室者不明、兼氏には記載が無い)。

官費生には12円支給され、当時米一俵二円という折りで充分であった。賄は弾左衛門(千住の皮製造業、松本良順とも関係あり)が大学から病院の方まで全部賄っていた。当時宿料三円の折、寄宿舎は四円五十銭であった。外人教師ホフマンの脚気予防説に倣って、朝食は卵三個と汁、香の物、昼食は百目位の牛肉一皿、夜は魚、牛肉のソップ(スープ)、野菜の献立だった。弾左衛門にとっては、牛肉の取り扱いが得意で、これも、牛乳摂取も当時としては、前衛であったが、良順の主張に一致する。



図2: 五千分の一参謀本部地図、明治17年代 黒A: 東京医学校、白A: 明治2年来増築した東大第二医院、B: 東京府養育院、渋沢栄一院長、C: 秋葉ヶ原、明治2年12月町火災消失、静岡県静岡山「火伏せの神」記、D: 新し橋(美倉橋)手前が和泉橋、E: 練堀町、大槻俊斎、司馬遼海、手塚良齋住む、F: 佐久間町一丁目、G: 時代によって名称変更する現在の万世橋、H: 旅籠町、同朋町などの外神田。以下文字は、各図でのほぼ共通する同一箇所を示す。



図3: 秋葉ヶ原方面撮影、ニコライ堂建築足場からのパノラマ写真(『よみがえる明治の東京』収載)、明治22年頃撮影、撮影者不明、フィルム石黒敬章氏から賃貸。著者加工コピー。秋葉ヶ原～医学校方面を望む、手前崖側が駿河台三菱社屋、J。左側に淡路坂の垣根が見える。今でも楽しく散策が出来る、図: 万世橋(旧万世橋、眼鏡橋とも呼ばれ明治2年の神田川洪水で本来の昌平橋は流され、少し下流に、明治6年廃墟となった筋違門の石壁を使って石橋を架橋した(東京府知事大久保忠寛は「よろすばし」と命名したが、皆は読めず「まんせいばし」と通称した。明治40年2月、壊される。K: 阿部伊予守、老中阿部正弘の上屋敷敷で、講武場。洋学所を設立した。

懐古的ですが、課業の合図は、盤木を打ち、食事のそれは拍子木を鳴らして知らせた。学生は一切書籍を持たず、病院の傍の書籍館(図示されず)で貸してくれ、夏冬の長期休暇では、借りた書籍を背負って帰国し勉強した。無月謝であった。床屋、湯も校内にあり、文具、石油(暖房のためか)は校門前の商店町(図E: 松永町・練堀町あたりか)。贅沢なことに寄宿舎には小使が二人居て、凡て用を足してくれた。外出は午後四時から八時まで、官費生はドイツ制服、下級生は袴羽織で、日本橋、上野あたりを散歩する位で、門番の所に名札を掛け、この名札を紛失すると、一週間の禁足罰が発表された。日曜は朝8時から夜8時まで外出許され、寄席(上野、浅草か)が一番の楽しみで、筋違見附は(万代橋上流、江戸幕府要所の筋違橋は破壊され、門石は、明治3年流された上流の昌平橋の構築に再生使用された、パノラマ図3G)。見附広場は、二丁四方の野原に化し、見世物小舎が沢山立った。十時が消灯で、生徒の面会時間は午後2時から3時までで、親族は監事局応接所で、女との面会は大きな通用門でさせられた。森林太郎(鷗外)父静男との面会風景作品残る。講堂、教師室は畳を剥がし絨毯を敷いた。解剖局(赤枠囲い、旧剣弓練習所)には田口和美が居座り解剖学ないし解剖実施し(刑死體、病院死體が始めで、明治2年篤志解剖一号美幾女、同3年から上野護国院の東京府養育院病死體も)、田口は“たかが小使ではないか”という気で或日中に入り、叱責され解剖知



図4: 医学校、第二医院パノラマ拡大写真。A: 医学校高い三角の屋根二棟みられる第二医院です。白抜きA: 医学校、B: 東京府養育院。医院奥は薬品試験所。

識を問われる。正解して出入り不問となる。田口の実績は次の予定です。当時ホフマン、デーニッツが解剖学、病理組織学を教えていた。シモンズも横浜野毛山の十全医と医学校予科を担当し、兼氏が習った記述がある。

以上の記述は図1白抜きA、図2左白抜きA、図3・4の旧医学校Iが大病院にほぼ移転し、医学校兼病院を経て、医学校、東校、更に第一大学区医学校(明治5年8月、六大学区を制定し、外国人教師受け入れの体制をとった)、所在地は『第一大学区東京第五大区三小区神田和泉町一番地津藩邸旧趾』までのことです。明治7年5月東京医学校と改称した。明治7年9月変則生徒を廃止した。在籍生の一部は附属医学生(医員生)にして残ったが、明治7年までに医院、府県の病院に採用され変則制は廃止された。兼氏は岩佐純の東日本橋の病院に勤務し、後に千葉県属官吏兼共立病院院長に明治6年転向する。それまでに、佐藤尚中、岩佐純との太いパイプを築く。

図2、Aの三棟の国文字に見える建物は、建坪約1279坪(約4231㎡)、平屋ながら高く大きい瓦葺屋根を持ち、三棟は左右が正面玄関(北向き)を中心に約160mに及び、玄関向きにして第一棟が外来、医局、第二棟は入院用で、明治19年の記録では、それらの収容者数は僅か216名であったという。第三棟は医学校生徒、医学通学生研修の場所であった。ここで外人教師による教育、医療が本格的にはじまり、明治10年4月東京大学医学部と改称する。他方で明治8年頃から、本郷旧前田邸への移転の構想、明治11年まで移転完了。明治12年4月12日臨幸、東京大学・病院の開業式が挙行政され、名実共に西洋式医療の体形が完成した。ここで和泉町旧病院は医学部第二医院と改称した。渋沢栄一が明治5年設立した東京府養育院が、医学校との交渉を通じて、明治12年頃和泉町に移転し、明治18年養育院は一旦



図5 明治9年東京医学校は本郷の新キャンパスに移り、同10年東京大学医学部医院となった。同15年、これを第一医院とし、和泉町医院を第二医院とした。図5は明治32年の第二医院、通用門からの第一棟外来棟か。明治34年に火災で全焼し、第二医院跡地は、三井八郎右衛門に売却された。明治42年(1909年3月)三井慈善病院開設、東京帝国大学医学部の協力で診療開始した。現在に続く。出典不明。



図6 2010年代和泉町中央通り写真(著者撮影)。上図は三井記念病院の改築中図である。下図は東京都排水ポンプ場で、この地は低湿地で、場違いに随所にポンプ場がみられ、たまたま練馬地区で筑波線の工事に出会い、工事現場の排水作業を見掛けた。

廃止される。その後、本所長岡町にて小規模再興され、明治23年東京市養育院と称し、渋沢が院長に再任し、従来の院診療制度の不備と時代の趨勢を

認識し治療の一切を大学医学部に委任し、和泉町に移転したものと考えます。大変その経緯が錯綜しますので、機会を見て触れます。図2のB養育院は営業していた頃と考えます。

参考資料、東京大学百年史通史1、東京帝国大学五十年史、日本医史学雑誌10、17、東京帝国大学法医学教室五十三年史、東京百年史3、鹿鳴館時代の東京(学研、国土地理院)、二階堂家資料。次回、田中和美中心に兼の周辺を更に追う予定です。

がん患者サロンだより

がんの診断・治療 薬物(化学)療法 ③

抗がん剤治療(投薬)の流れ: 抗がん剤の種類などによりですが点滴の場合は、血液・画像検査、副作用・体調などに関する問診で、治療可能な場合、①吐き気止めの服用・点滴 ②抗がん剤の投薬 ③点滴ルート内残留薬の流し ④休息と体調回復を、副作用に注意をしながら行います。

点滴は通常数時間かかるため、通院治療室のベッド・リクライニングチェアなどでくつろぎながら受けます。

点滴中に痛み・薬剤の漏れなどに気づいたら、すぐに看護師に知らせます。また、点滴後に症状が現れる場合もあるため、針を刺した処の変化を数日観察します。

治療を順調に受けるため、持病(高血圧・糖尿病など)の管理、禁煙・節酒(禁酒が望ましい)・口腔ケア・感染予防の励行など、体調を崩さない生活が大切です。

副作用の種類と症状・対応: 出現時期・症状・程度などは、薬剤の種類・使用量、個人の体質・体調など個人差の他、自覚できる場合、できない場合があります。

出現する副作用は、生命に影響がない、抜け毛・味覚障害などから、生命への影響が大きく早期発見・早期治療が必要な、アレルギー反応・骨髄抑制などです。

なお、在宅での内服薬の取扱い、抗がん剤服用・投与後2日間程度内の排泄物(尿・便、嘔吐物)の取扱い、洗濯・入浴時の留意点など、医療者に聞いておきます。

緊急連絡に関して: あらかじめ医療者に、どのような時にどこに連絡をしたらよいかを確認しておきますが、特に、**37.5度以上の発熱**があり、事前指示された方法で改善しない場合や、**吐き気・嘔吐・水分が取れない**など不安な場合は、治療を受けている病院に、速やかに連絡します。

連絡先の、病院名(電話番号)・診療科(病名・担当医名)、診察券番号を手元に置き、どんな症状か(何時から、部位・状態、経過状況、現在の様子など)を伝えます。

掛かりつけ医等との連携: 抗がん剤治療を始める場合、担当医から掛かりつけ医に、治療情報提供書(病名・症状・治療内容・使用薬剤名など)を作成(有料)してもらい提出しておくのも有効です。新たな病気で治療を受ける場合、抗がん剤(薬剤名)治療中であることを伝えます。

参考) がん情報サービス(国立がん研究センターHP)、国)四国がんセンターHP、静岡県立 静岡がんセンターHP など

患者サロンの話題から 抗がん剤の副作用

80歳代女性は「幾つかの副作用があり、つらくて、うつうつしいけど、がんと一緒に、付き合えばいいんだ」。

「副作用の説明があったけど、出るのと出ないの」との50歳代男性。「抗がん剤等の助けを借りながら、最終的には自分の治癒力。必ず治ると信じている」。(宗水)

がん患者サロン

日時: 毎月第4金曜日 13:30 ~ 16:00

2025年 10月24日(金) 11月28日(金)

12月19日(金) (12月は第3金曜日です)

2026年 1月23日(金)

場所: 千葉医療センター内会議室(道順は当日掲示)

対象: 主としてがん体験者及び、そのご家族です。

どちらの医療機関に掛かっておられても参加できます。(予約不要、参加費は無料です)

*感染症の流行状況などによってはお休みします。

当院HP又は、下記にお問い合わせください。

*発熱など体調不良の方は参加をお控えください。

*該当日が祝祭日はお休み。12月は第3金曜日。

問い合わせ: TEL 043-251-5311 (代表)

内線 2612 企画課医事

医薬品を取り巻く “今” と “これから”

薬剤部 医薬品情報管理室主任 松永 浩明

最近、薬局で「薬が足りず準備できない」と言われた経験をした方もいるのではないのでしょうか。鎮痛薬や咳止め、抗菌薬など、生活に身近な薬をはじめとして、たくさんのお薬の供給不足が全国的に問題となっています。なぜこのような事態が起きているその内容を簡単にご紹介します。

【医薬品供給不足の背景】

医薬品不足の原因は一つではなく、いくつかの要因が重なっています。第一に、製薬会社での**製造管理ルール違反（GMP違反）**が相次いで発覚し、多くの医薬品で業務停止や製造中止となったことです。これにより一部の薬が市場から一気に姿を消し、他社への需要集中が発生しました。

第二に、新型コロナウイルス感染症の流行による影響です。解熱薬や咳止め薬の需要が急増し、さらに海外の原薬工場や物流が止まったことで、供給が不安定になりました。工場や配送現場の人員不足、社会全体の不安感もこれに拍車をかけました。

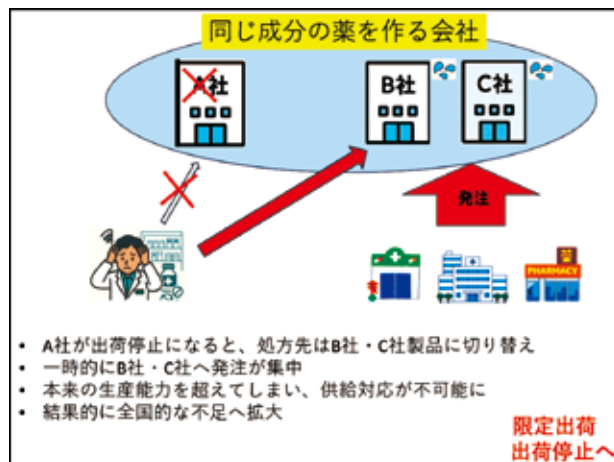
第三に、政府の薬価引き下げ政策です。医療費を抑える目的で長年続けられてきたこの施策は、製薬企業の収益を圧迫し、結果として安定供給体制や製造設備への投資が難しくなりました。こうした要因が複雑に絡み合い、現在の供給不足問題に至っています。

【「限定出荷」という仕組み】

薬が不足した際、製薬企業は「**限定出荷**」という方法をとることがあります。これは出荷量や出荷先を制限し、薬が一部の医療機関に偏らないよう調整する仕組みです。ただし、すべての病院や薬局に公平に行き渡るわけではなく、既存の取引先を優先する場合もあり、地域差が出るのが現実です。

【長期収載品と自己負担の変化】

医薬品政策の変化は、私たちの自己負担額にも影響します。すでにジェネリック医薬品（後発品）がある古い先発薬は「**長期収載品**」と呼ばれます。ジェネリックと効果は同等ですが価格が高く、医療費抑制の観点から、近年は「**選定療養**」という仕組みが導入されました。これは、患者さんの希望で長期収載品を選んだ場合、通常の自己負担に加えて差額の一部を追加で負担するという制度です。例えば一部の抗凝固薬（血栓予防のお薬）ではジェネリックと先発品で1か月に1,000円以上の負担差が生じることもあります。今後は患者さま自身が薬



の選択によって負担額が変わる時代になると言えるでしょう。

【ポリファーマシー（多剤併用）の課題】

また、供給不足と並んで問題となっているのが「**ポリファーマシー**」です。高齢化に伴い、多くの薬を同時に服用している方が増えています。薬が多いと副作用や飲み合わせのリスクが高まり、医療費もかさみます。不要な薬を見直し、できるだけ安全で体への負荷が少ない処方に整理する取り組みが求められています。

【医薬品不足に直面したら】

では実際に薬局で「薬がありません」と言われた場合はどうすればよいのでしょうか。薬局では、他の薬局の在庫を探したり、一部だけ先に渡す「分割調剤」を行ったりします。また、必要に応じて医師に連絡し、同じ効能の別の薬に変更する場合があります。患者さまご自身も、「**かかりつけ薬局**」を決め、日頃から薬剤師に相談しておくことで、お薬を事前に準備することができる場合もあります。また副作用が出た時には、より身体に合った他のお薬へ変更提案をしてもらうこともできます。これらを通じ、医師や薬剤師に相談し易い関係を築いておくことも大切です。

【これからの医薬品と私たち】

医薬品を取り巻く環境は大きく変化しています。供給不足の解消には時間がかかりますが、政府も安定供給に向けた取り組みを進めています。患者さまが自身の薬に関心を持ち、医師や薬剤師と一緒に考えることが、安心して治療を続ける第一歩になります。この記事が皆さまにとって、薬の正しい理解と安心につながるきっかけになれば幸いです。

市民健康セミナーの開催

8月をのぞく毎月第4木曜日に、市民健康セミナーを開催いたします。様々な病気・疾病や健康に関することをテーマに、講演を行なっていきます。

皆様の聴講をお待ちしています。

7～9月に行われたセミナー

- 7月24日(木) 午後2時～3時
「骨盤臓器脱ってなに？
～女性にやさしい最新の治療法～」
産婦人科 春成 淳平
- 9月25日(木) 午後2時～3時
「知っておきたい薬の知識
～医薬品の‘今’と‘これから’～」
薬剤部 医薬品情報管理室主任 松永 浩明

今後の予定

第4木曜日 午後2時から3時
会場：当院地域医療研修センター

- 10月23日(木)
「急性腹症と消化器外科緊急手術」
講師：外科 坂本 敏哉
- 11月27日(木)
「冬に流行する感染症とその予防法」
看護部 吉田 茂
- 12月25日(木)
「心と身体を動かしましょう」
～「フレイル」って知っていますか～
リハビリテーション科 運動療法主任 池田 理英

《会場内ではマスクの着用をお願いいたします》

専門外来担当医師表

診療科	月	火	水	木	金
和漢診療科			永井 千草 8:30～13:00 予約制		
不整脈外来(循環器内科)			中野正博(第2・4水曜日) 14:00～16:30 完全予約制		
腎内科(内科)			上田 志朗 (第2・4水曜日)8:30～10:00 紹介制		
リウマチ・アレルギー外来(内科外来)				中澤 卓也 (第2木曜日)13:30～16:00 初診：院内紹介制 再診：予約制	
大腸癌外来(外科)				里見 大介 (初診・再診)12:30～15:00	
胆石外来(外科)				榊原 舞 (初診・再診)13:00～15:00 (再診のみ)15:00～16:00	
股関節外来(整形外科)			阿部 功(股関節) 14:00～15:30 紹介制・予約制		
緩和ケア外来(外科)		豊田 康義 丹藤(認定看護師) 10:00～11:30 予約制	豊田 康義 丹藤(認定看護師) 10:00～11:30 予約制		
ストーマ外来(外科)					谷(認定看護師) 9:00～12:00 予約制
助産師外来(産婦人科)		<予約制> 午前・午後		<予約制> 午前・午後	
母乳外来(産婦人科)		<予約制> 午前4枠		<予約制> 午前2枠・午後2枠	<予約制> 午後2枠
思春期外来(産婦人科)				岡嶋 祐子 午後 予約制	
性カウンセリング(産婦人科)				大川 玲子 (第1・第3木曜日) 8:30～17:00 予約制	

検査担当医師表

診療科	月	火	水	木	金
胃内視鏡検査 (午前)	内科交替医 外科交替医	内科交替医	内科交替医	内科交替医 外科交替医	内科交替医
大腸ファイバー(午後)	内科交替医	内科交替医	外科交替医	河野(宏)/外科交替医	内科交替医
超音波	腹部 心臓	内科交替医	内科交替医		内科交替医 高見 徹

編集後記

今年の夏も厳しい暑さが続きました。2017年8月から続いていた「黒潮大蛇行」が2025年4月によりやく終息しましたが、その影響かどうかは定かではありません。ただ、9月にはイワシの漁獲量がなんと昨年の1890倍にまで増え、脂ののったイワシが多くの食卓を賑わせたのではないのでしょうか。前号に引き続きイワシの話題となりましたが、私自身もその恵みをありがたく味わうことができました。(MA)

【編集委員名簿】

(編集長 大河昭彦)
(副編集長 茂田誠司)
(會澤正芳)(野村理恵)
(久保慶宜)(楯 朋子)
(渡辺秀張)(佐藤厚子)

令和7年10月1日から 外来診療担当医師表

原則として、
受付時間は平日の8:30～11:30

診療科		月	火	水	木	金	
内科	新患	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	
	再診	呼吸器内科 新患は紹介制	安田 直史 望月 隆汰 杉浦 信之 伊藤 健治	西村 大樹 相川雄太郎 金田 暁 齊藤 正明	江渡 秀紀 野口 直子 伊藤 健治 阿部 朝美	西村 大樹 野口 直子 多田 稔 金田 暁	江渡 秀紀 安田 直史 阿部 朝美 齊藤 正明
		消化器内科	白鳥 航 八幡 春香 新行内綾子	宮村 達雄 三浦 義史		西村 光司 金 珉材	白鳥 航 三浦 義史
		血液内科 新患紹介・予約制 再来予約制		上原多恵子		後藤 茂正(第1,3)	上原多恵子
		糖尿病代謝内科 新患紹介制・再診予約制	仲 理允	大野 友寛	大野 友寛	高橋 直也 尾高 玲奈	濱野 陽彩
脳神経内科(旧:神経内科) 新患紹介制・予約制・再診予約制		長瀬さつき 車田賢太郎	織田 史子 大西 庸介	長瀬さつき 大西 庸介	織田 史子	高坂 享佑	
精神・神経科 新患は受付停止中 再診予約制		楠戸 恵介		石 黒 聡	楠戸 恵介(午前)		
循環器内科 新患紹介制・再診予約制 受付10時まで		高見 徹<予約制> 吉野 裕	中里 毅	梶山 貴嗣	高見 徹 青木 薫子	中里 毅	
小児科 水曜の受付は10時30分まで		須藤扶佐代		須藤扶佐代		佐藤 一樹	
外科・ 消化器外科		福富 聡 榊原 舞 坂本 敏哉	[交替医]	古川 勝規 豊田康義(緩和ケア) 土岐 朋子 千田 貴志	里見 大介 野村 悟 小倉皓一郎	[交替医]	
乳 腺 外 科 予約制		鈴木 正人 吉田 一也 山崎美智子	鈴木 正人 吉田 一也 山崎美智子	中野 茂治 手 術 日	鈴木 正人 吉田 一也 山崎美智子	鈴木 正人 吉田 一也 山崎美智子	
整 形 外 科 火曜の受付は10時まで		大河 昭彦 阿部 功 村上 宏宇 橘川 友哉 高谷 哲郎	[交替医] 手 術 日	大河 昭彦 阿部 功 林 浩一 鶴見 要介 橘川 友哉	村上 宏宇 林 浩一 鶴見 要介 橘川 友哉 高谷 哲郎	手 術 日	
形 成 外 科 第1木曜日は予約制 金曜日は予約制		手 術 日	鈴木 文子	手 術 日	鈴木 文子	鈴木 文子 <予約制>	
脳神経外科 新患は紹介制・予約制のみ 再診は予約制のみ		小林 英一	小林 英一	手 術 日 (新患予約制)	手 術 日	尾崎 裕昭 篠崎 文貴	
呼吸器外科		斎藤 幸雄	手 術 日	斎藤 幸雄 石橋 史博	斎藤 幸雄 伊藤 貴正	石橋 史博	
皮膚科 新患受付停止中 再診予約制					角田 寿之		
泌 尿 器 科 新患は紹介制(月・火・金) 受付は10時まで		一色 真造 櫻山 由利 高橋 正行	一色 真造 櫻山 由利 高橋 正行	手 術 日	櫻山 由利 川名庸子(第1,3) 高橋 正行	[交替医] 手 術 日	
産 婦 人 科 婦人科新患受付は 月・水・金(紹介制・予約制) 産科新患受付は 月・水・金 再診 予約制		春石 真菜 福田 笹那 妊婦健診 手 術 日	手 術 日	黒田 香織 増田ゆうき 妊婦健診	手 術 日	春成 淳平 西片 香甫 片山 恵里(午前) 妊婦健診	
眼 科 新患は紹介制・予約制		新井みゆき 岡田 恭子 林 裕子 塙 菜摘 松崎 由佳 (4診交替制) 手 術 日	新井みゆき 岡田 恭子 林 裕子 塙 菜摘 松崎 由佳 (4診交替制) 手 術 日(午後)	新井みゆき 岡田 恭子 林 裕子 塙 菜摘 松崎 由佳 (4診交替制) 手 術 日(午後)	手 術 日 外来注射日	新井みゆき 岡田 恭子 林 裕子 塙 菜摘 松崎 由佳 (4診交替制)	
頭頸部外科・耳鼻咽喉科 新患は紹介制(月・水・金)、再診は予約制		武田 宣高		栗田 惇也		平野 美聡	
放 射 線 科		酒井 光弘 <予約制>		酒井 光弘 <予約制>		酒井 光弘 <予約制>	
歯科口腔外科 新患は紹介制 再診は予約制		中津留 誠 嶋田 健 丹沢 藍加	中津留 誠 嶋田 健 丹沢 藍加	中津留 誠 第1・第3午後休診 嶋田 健 丹沢 藍加	嶋田 健 丹沢 藍加	中津留 誠 嶋田 健 丹沢 藍加	
病理診断科		< 完全 予 約 制 (月 ~ 金) >					

※専門外来・検査担当表は7ページに掲載しています。

交替医はその都度変更になります。